

航空路等の概要

航空路・RNAV経路

航空路とは、基本的に航空保安無線施設相互を結んだ経路である。航空機は、航空保安無線施設から得られる情報(距離、方位等)を頼りに、航空路を飛行方向(東行き、西行き)ごとに定められた高度で飛行する。

RNAV経路とは、RNAV航行をする航空機のための経路である。RNAV経路は、従来の航空路より飛行距離が短縮されるだけでなく、経路を自由に設定することで、より多くの航空機を効率よく飛行させることができる。その運用にあたっては、航空管制官によるレーダー監視を必須とするほか、航空機の搭載機器や航行許可等の要件がある。

出発・到着経路、計器進入方式

出発・到着経路及び計器進入方式とは、航空路・RNAV経路と空港をつなぎ、離陸や着陸に使われるものである。一般的に、空港には複数の出発・到着経路、計器進入方式が設定されており、気象条件等により使い分けられる。

出発・到着経路及び計器進入方式には、航空保安無線施設を使用した経路とRNAVによる経路があり、空港周辺の地形等を考慮し、離着陸機が秩序よく飛行するために必要な経路、旋回方向、高度等が設定されている。

